

CyberLink DVD Suite Manual(1)

<http://www.manuallib.com/file/2164743>

From ManualLib.com

ManualLib.com collects and classifies the global product instruction manuals to help users access anytime and anywhere, helping users make better use of products.

Home: <http://www.manuallib.com/> Chinese: <http://www.shuomingshuku.com/>

CyberLink

CyberLink DVD Suite

ユーザーガイド



著作権について

All rights reserved. CyberLink Corporation の文書による許可なく本書の一部あるいは全部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、機械的、フォトコピー、記録的方法を含め、いかなる方法においても転送することを禁止します。

法律の認める範囲において、CYBERLINK DVD SUITE は情報、サービス、または CYBERLINK DVD SUITE に関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらずいかなる保証も行わず現状のままで提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様は CYBERLINK がこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

CyberLink DVD Suite は本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, MLP Lossless, The "AAC" logo, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1992-2004 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, DTS Digital Surround, ES, and Neo:6 are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地	CyberLink Corporation 15F, #100, Minchiuan Road, Shindian City Taipei 231, Taiwan
Web サイト	www.cyberlink.com
電話	886-2-8667-1298
Fax	886-2-8667-1300

Copyright © 2008 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

はじめに	1
CyberLink DVD Suite Ultra の機能	2
PowerStarter	2
メニューアイコン	3
機能 / プログラムアイコン	5
クイックアクセスボタン	5
バージョン表	8
システム要件	9
光学システム要件	10
データ	11
データディスクの書き込み	12
ブータブルデータディスクのフロッピーディスクからの書き込み 13	13
ディスクのフォーマット	15
ディスクのフォーマット	15
InstantBurn の使用	16
音楽	19
音楽ディスクの作成	20
音楽ディスクの書き込み	20
音楽のリッピング	22

ムービープレーヤー 25

ムービーの視聴	26
再生コントロール	26
メインコントロール	27
再生中のナビゲート機能	27
DVD やその他のメディアの再生	28
ドラッグ & ドロップによる再生	28
ハードディスクの DVD ファイルの再生	28
設定	29

ムービーディスクの作成と編集 33

ムービーディスクの作成	34
ディスク形式の選択	34
メディアのキャプチャ / 読み込み	35
ディスクのメニューページのカスタマイズ	36
書き込みの設定	37
ビデオ編集	39
使用できる編集オプション	39
Magic ツールの使用	40
効果の追加	41
ムービーの制作	42
静止画編集	43
スライドショーの作成	44
DVD フォルダの書き込み	45

コピー & バックアップ 47

データディスクのコピー	48
DVD-Video のコピー	50
データのバックアップとリストア (書き戻し)	52

データのバックアップ	52
データのリストア	54
ユーティリティ	57
ディスクからのイメージ作成	58
ディスクイメージからの書き込み	59
ディスクの消去	60
ラベルを印刷する	61
ステップ 1 - ラベルの種類を選択	62
ステップ 2 - ラベルテキストの編集	62
ステップ 3 - レイアウトなどの編集	62
ステップ 4 - 印刷の確認 / 実行	62
テクニカルサポート	63
テクニカルサポートにお問い合わせになる前に	64
Web サポート	65
索引	67

第1章：

はじめに

高品質 DVD 再生および作成スイート、CyberLink DVD Suite Ultra へようこそ。
このパッケージにはたくさんの CyberLink 製品が組み込まれており、デジタルメディアの視聴や作成を存分にお楽しみいただけます。

CyberLink DVD Suite Ultra を使用すると、次のことを行えます。

- 世界一のディスクプレイヤーでムービーを楽しむ
- 音楽、ムービー、データを Blu-ray ディスク、DVD、CD に書き込む
- 音楽 CD をリッピングする
- 動画メニュー付きの Blu-ray ディスク、DVD ムービーやスライドショーを作成する
- マジックツールでビデオや写真を編集する
- データのバックアップとリストアを行う
- ディスクラベルを作成して印刷する
- 便利なディスクツールを使用する（ディスクの消去や作成、ディスクイメージの書き込み）
- データをフロッピーなどのリムーバブルメディアに書き込む時のように、ディスクにもドラッグ&ドロップできる

CyberLink DVD Suite Ultra の機能

CyberLink DVD Suite Ultra の機能はすべて、CyberLink PowerStarter からアクセスできます。CyberLink PowerStarter を使用すると、CyberLink の多様なホームエンターテイメントソフトウェアに簡単にアクセスでき、さまざまな作業を行ったり、メディアファイルを管理したり、ムービーを作成してディスクに整理したり、ディスクに書き込んだりできます。

PowerStarter

CyberLink PowerStarter には次のものが表示されます。

メニューアイコン



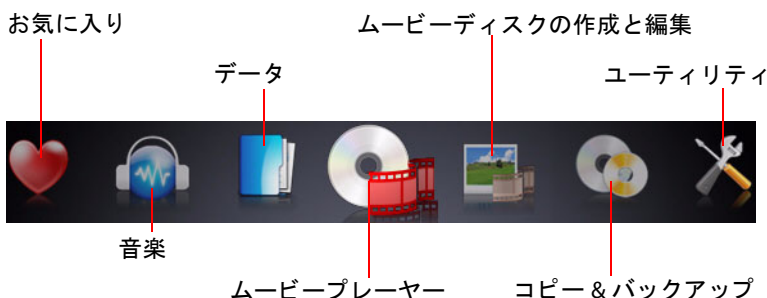
機能 / プログラムアイコン

クイックアクセスボタン

CyberLink PowerStarter には実際の作業に即した使い方ができる良くまとまったインターフェイスが用意されており、必要な CyberLink プログラムを起動したり、CyberLink DVD Suite Ultra をアップグレードしたりできます。

メニューアイコン

使用するメディアの種類や作業内容に対応したメニューアイコンをクリックします。



この部分は、CyberLink PowerStarter からアクセスできる機能を表しています。

お気に入り



お気に入りメニューを使用すると、よく使う機能やプログラムを登録して、よりアクセスしやすくなります。デフォルトでは、このウィンドウには何もありません。

お気に入りメニューに機能やプログラムを登録するには、適切なメニューアイコンをクリックして対象の機能やプログラムを表示します。対象のアイコンを右クリックして、[お気に入りに追加]を選択します。

お気に入りメニューの機能やプログラムを削除するには、対象のアイコンを右クリックして、[お気に入りから削除]を選択します。

音楽



音楽メニューには、オーディオファイルをディスクに書き込んだり、さまざまな形式に変換したりする機能が用意されています。また、音楽 CD をハードディスクにリッピングすることもできます。

データ



データメニューには、データファイルをディスクに書き込む機能が用意されています。また、ブータブルディスクを作成したり、CyberLink InstantBurn でディスクをフォーマットしてディスクにドラッグ&ドロップ書き込みができるようにしたりできます。

ムービープレーヤー



ムービープレーヤーメニューには、優れたナビゲーションコントロールによりニーズに応じたインタラクティブな視聴をお楽しみいただけるムービー再生機能が用意されています。

ムービーディスクの作成と編集



ムービーディスクの作成と編集メニューには次の機能が用意されています。

- ・ ビデオや写真のディスクへの書き込み
- ・ ビデオや写真ソースファイルの編集
- ・ BGM 付きのスライドショーの作成
- ・ メディアファイルの整理とディスクへの書き込み

コピー & バックアップ



コピー & バックアップメニューには、ディスクや DVD ムービーのコピー機能が用意されています。さらに、大切なデータをすべてバックアップし、必要に応じてリストア (書き戻し) することもできます。

ユーティリティ



ユーティリティメニューには、現在のディスクコンテンツの削除、ディスクラベルのデザインと印刷、ディスクイメージの作成や書き込みといった、ディスクを管理するための機能があります。

注： アイテムが増えすぎて CyberLink PowerStarter のスペースがいっぱいになってしまったら、◀ ▶ ボタンを使用して左右にスクロールできます。

機能 / プログラムアイコン

使用できる機能やプログラムを見るには、メニューアイコンをクリックします。機能を使うには、表示されたアイコンをクリックします。あるいは、対応するプログラムを起動してもかまいません。

機能やプログラムで右クリックして、[実行]を選択する方法もあります。

クイックアクセスボタン

プログラムの右下にある 3 つのクイックアクセスボタンを使用すると、[設定] ウィンドウ、[アップグレード] ウィンドウ、[CyberLink 製品] ウィンドウを開くことができます。各ウィンドウについては、次の項で説明します。

設定




CyberLink 製品


アップグレード

設定ウィンドウ

CyberLink PowerStarter の動作を設定するには、[設定] ボタンをクリックし、対象の設定を選択します。

- ・ **プログラムを閉じると PowerStarter に戻ります** : CyberLink PowerStarter インターフェイスを経由して開いていたプログラムの終了後、CyberLink PowerStarter に戻ります。
- ・ **最新のバージョンを自動的にチェックする** : インストールしているソフトウェアの最新バージョンを 14 日ごとに自動的に確認します。新しいバージョンは、アップグレードウィンドウに赤いアイコン  で示されます。
- ・ **製品情報を取得する** : アップグレードページに表示するバナーや広告の表示と非表示を切り替えます。

アップグレードウィンドウ


コンピュータにインストールされている CyberLink 製品のバージョン情報を確認するには、 をクリックします。

コンピュータにインストールされている CyberLink 製品が一覧表示され、バージョン番号、アップグレードやパッチの有無を示すアイコンも表示されます。

最新のバージョンを表示する



PowerStarter で最新バージョンを 14 日ごとに自動的に確認します。




 をクリックすると、手作業でこの情報を更新できます。

PowerStarter によりコンピュータがチェックされ、使用できる CyberLink 製品の最新のバージョン番号が表示されます。

アップグレードをチェックする

パッチやアップグレードがある場合、製品の横にある対応するボタンが有効化されます。 アイコンをクリックすると、その製品の最新のソフトウェアパッチをダウンロードするページが表示されます。また、 アイコンをクリックして、その製品をアップグレードすることもできます。

現在使用可能なアップデートすべてを見るには、 をクリックして CyberLink の Web サイトにアクセスしてください。

CyberLink 製品ウィンドウ

CyberLink 製品すべてを見るには、 をクリックします。アイコンをクリックすると、対応するプログラムが開きます。

バージョン表

次の表に、Cyberlink DVD Suite Ultra 6.0 のさまざまなバージョンの違いをまとめます。

製品	CDS 6.0 Ultra
PowerDVD	7.3 Ultra 2ch
PowerDirector	6.5 HE
PowerProducer	Dolby 6ch 使用 4.2 Blu-ray ディスク
Medi@Show	3.0 フル機能バージョン
Power2Go	6.0 Deluxe
PowerBackup	2.5 Standard
Instant Burn	5.0 フル機能バージョン
PowerDVD Copy	1.0 フル機能バージョン
LabelPrint	2.0 フル機能バージョン
BD/HD Advisor	2.0
PowerStarter	6.0
iTunes	7

注： 特定の製品で提供されている機能に関する情報は、製品の Readme またはヘルプファイルを参照してください。

システム要件

次に、このプログラムを使用する際に推奨する最小限のシステム要件を記載します。使用するシステムがこの要件を満たしていても、一部の作業を行うためにはシステムの拡張が必要になる場合があります。

必須システム要件

OS	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows Vista / XP
画面解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 1024 x 768、16 ビットカラー以上
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> • 512MB (1GB 以上を推奨)
CPU	<ul style="list-style-type: none"> • 高品質コンテンツには Dual Core を推奨
ハードディスク容量	<ul style="list-style-type: none"> • DVD には 10GB (15GB 推奨) • Blu-ray ディスクには 25 GB (50GB 推奨)
DV	<ul style="list-style-type: none"> • OHCI IEEE 1394 対応デバイス
ビデオキャプチャデバイス	<ul style="list-style-type: none"> • DV カメラビデオキャプチャ : OHCI 規格に準拠した IEEE 1394 入出力デバイス • アナログビデオキャプチャ : WDM 規格に準拠した USB または PCI キャプチャデバイス • DV カメラビデオキャプチャ : OHCI 規格に準拠した IEEE 1394 入出力デバイス • デジタル静止画カメラ画像インポート : USB インターフェイス

必須システム要件

書き込み

- Blu-ray ディスクを書き込むには、BD-RE ライターが必要です
- DVD/MiniDVD タイトルを書き込むためには、DVD ライター (DVD+R/RW または DVD-VR/RW) が必要です
- CD/VCD タイトルを書き込むには、CD ライター (CD-R/RW) が必要です

光学システム要件

Blu-ray ディスクを再生したり、ハイビジョン ビデオを再生 / プレビューしたりするには、次の CPU モデル以上をご使用になるようお勧めします。

- **Intel:** Pentium EE 840 3.2 GHz または 955 3.4 GHz、Pentium D 945 3.4 GHz、950 3.4 GHz または 960 3.6 GHz、Core Duo T2500 2.0 GHz、T2600 2.16 GHz または T2700 2.33 GHz、Core 2 Duo E6300 1.8 GHz、E6400 2.13 GHz、E6600 2.4 GHz、E6700 2.66 GHz または X6800 2.93 GHz
- **AMD:** Athlon 64 FX FX-60 2.6 GHz または FX-62 2.8 GHz、Athlon 64 X2 4200+ 2.2 GHz、4400+ 2.2 GHz、4600+ 2.4 GHz、4800+ 2.4 GHz または 5000+ 2.6 GHz、Turion 64 X2 TL-60 2.0 GHz

第2章：

データ

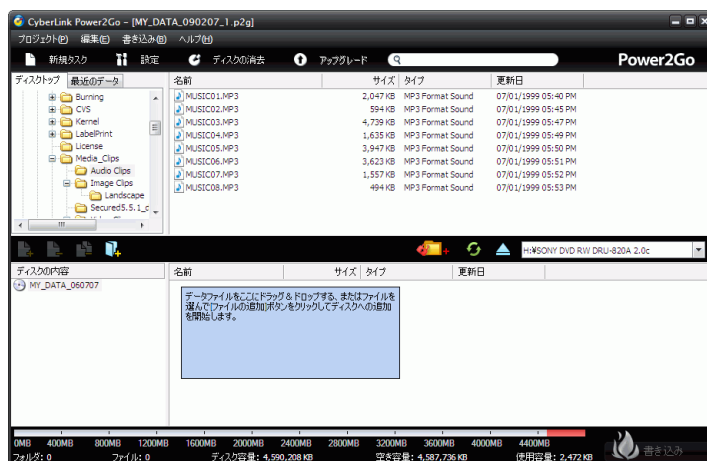
CyberLink DVD Suite Ultra には、CyberLink Power2Go によるデータディスク作成をはじめとした、いろいろな書き込み機能が用意されています。CD、DVD、Blu-ray ディスクへの書き込みや、ブータブルディスクの作成が可能です。CyberLink InstantBurn で使用するディスクをフォーマットすることもできます。




データディスクの書き込み

データディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink Power2Go のウィンドウで、作成するデータディスクのタイプを選択します。するとデータディスクのウィンドウが開きます。



2. 検索ウィンドウを使ってディスクに書き込みたいファイルを選択します。[最近のデータ]タブでは、CyberLink Media Library サービスを活用することにより、最近追加または開いたデータファイルを検索することができます。
3. 書き込むファイルやフォルダを選択し、書き込み先ディスクにドラッグするか、[追加]ボタンをクリックします。
4. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、 **書き込み** をクリックします。
5. 必要であれば、[データ]タブや[書き込み]タブの設定を変更してください。


6. 書き込む準備ができたなら **[書き込み]** をクリックします。すると CyberLink Power2Go がディスクの書き込みを開始します。
7. 書き込みが終了したら、開いたダイアログボックスでオプションを選択します。
 - 書き込みログを参照するには、**[ログを表示]** をクリックします。ログはデフォルトの TXT エディタで開きますので、見たり、保存したりすることができます。
 - ディスクのラベルを印刷するには **[ラベルを印刷します]** をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。61 ページの「ラベルを印刷する」を参照してください。
 - **[OK]** をクリックしてダイアログを閉じた後、終了します。

ブータブルデータディスクのフロッピーディスクからの書き込み

ブータブルデータディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter のウィンドウで、作成するデータディスクのタイプを選択します。
2. **[設定]** ボタンをクリックします。設定ウィンドウが開き、**[データ]** タブが表示されます。
3. **[起動用ディスクの作成]** オプションを選択します。
4. 次のいずれかを行います。
 - **[起動用イメージファイルを使用する]** オプションを選択し、**[参照]** をクリックしてブータブルディスクのパーティションを探します。
 - **[起動用フロッピーディスクを使用する]** オプションを選択します。

注 : **[起動用フロッピーディスクを使用する]** オプションを選択すると、**[書き込み]** をクリックした後でフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを挿入するよう要求されます。

5. **[OK]** ボタンをクリックすると、データディスクウィンドウに戻ります。必要であれば、ブータブルデータディスクに他のファイルやフォルダも追加してください。
6. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、 **書き込み** をクリックします。
7. 必要であれば、**[データ]** タブや**[書き込み]** タブの設定を変更してください。
8. 書き込む準備ができたなら**[書き込み]** をクリックします。すると CyberLink Power2Go がディスクの書き込みを開始します。
9. 書き込みが終了したら、開いたダイアログボックスでオプションを選択します。
 - ・ 書き込みログを参照するには、**[ログを表示]** をクリックします。ログはデフォルトの TXT エディタで開きますので、見たり、保存したりすることができます。
 - ・ ディスクのラベルを印刷するには**[ラベルを印刷します]** をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。61 ページの「ラベルを印刷する」を参照してください。
 - ・ **[OK]** をクリックしてダイアログを閉じた後、終了します。

ディスクのフォーマット

CyberLink InstantBurn を使用すると、データをフォルダ単位やファイル単位でディスクにドラッグ&ドロップするだけで、フロッピーなどのリムーバブルメディアに書き込むような手軽さで CD や DVD に書き込めます。ディスクがいっぱいになるまで書き込むことができ、不要なファイルやフォルダをゴミ箱に入れて削除することもできます。

データを CD や DVD にドラッグ&ドロップする前に、ディスクをフォーマットする必要があります。CyberLink InstantBurn はパケット書き込みのソフトウェアですので、ディスクは UDF (Universal Disc Format) 形式でフォーマットします。

注： InstantBurn でフォーマットしたディスクは、CyberLink Power2Go などのほかの書き込みソフトウェアで使用することはできません。

ディスクのフォーマット

CyberLink InstantBurn で使用するディスクをフォーマットするには、次の操作を行います。

1. フォーマットしていない空のディスクをドライブにセットします。
2. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[ディスクのフォーマット]** を選択します。InstantBurn ウィンドウが表示されます。
3. フォーマットするディスクをセットしたドライブを選択し、**[次へ]** をクリックします。
4. **[プロパティ]** をクリックして、ディスクのプロパティを確認します。内容が正しければ、**[次へ]** をクリックします。
5. ボリュームラベルを入力して、**[完了]** をクリックします。ボリュームラベルはディスクのフォーマット後に変更できます。

注： ボリュームラベルは最大 11 文字となります。また、スペースは使用できません。DVD をフォーマットする際にも、UDF バージョンを選択できます。Version 1.50 が最もよく使われているものであり、この設定を変える必要はありません。

6. 確認のプロンプトが表示されたら、[OK] をクリックしてフォーマットを開始します。

InstantBurn の使用

始める前に、**InstantBurn** アイコンが画面右下のシステムトレイに表示されていることを確認します。



- CyberLink InstantBurn が実行されていますが、ドライブにディスクがセットされていないか、セットされているディスクをフォーマットする必要があります。



- CyberLink InstantBurn が実行されており、すぐに使用できます。

注： このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ディスクへの書き込み

注： フォーマットした RW ディスクに書き込めるデータの量は、ディスクの物理的な容量よりも少なくなります。たとえば、650 MB の CD-RW には 530 MB のデータを、4.7 GB DVD-RW/+RW には 4.3 GB のデータを書き込めます。DVD-RAM に書き込む場合は、さらに少なくなります。

1. [マイコンピュータ]を開いて、コピー先のディスクドライブアイコンを表示します。
2. コピーするファイルやフォルダを表示する別のウィンドウを開きます。ステップ 1 で開いたウィンドウにかぶっていないことを確認してください。
3. ウィンドウのファイルやフォルダをクリックし、ディスクドライブアイコンにドラッグします。ファイルやフォルダが

ディスクにコピーされます。コピーされるデータが小さい場合、コピーウィンドウは表示されません。

4. コピー処理が終了したら、ディスクドライブアイコンをダブルクリックして開き、ファイルが正しくコピーされているかどうか確認します。

サポートされるディスク

Instant Burn 5.0 では、書き換え可能なメディア、および 1 回限りの書き込みに対応した特定のメディアがサポートされています。使用できるのは、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM ディスクです。

第3章：

音楽

音楽機能を使用すると、CyberLink Power2Go を使用して音楽ファイルを CD や DVD に書き込むことができます。また、音楽 CD からハードディスクに音楽をリッピングすることもできます。書き込む音楽ファイルの形式によっては、再生に特別なプレイヤーや再生ソフトウェアが必要となる場合があります。



注： ご使用になるコンピュータに音楽ファイルを書き込んだり、リッピングしたりするのに必要なコーデックを確実にインストールしておくために、Windows Media Player 11 がインストールされていることを確認してください。

音楽ディスクの作成

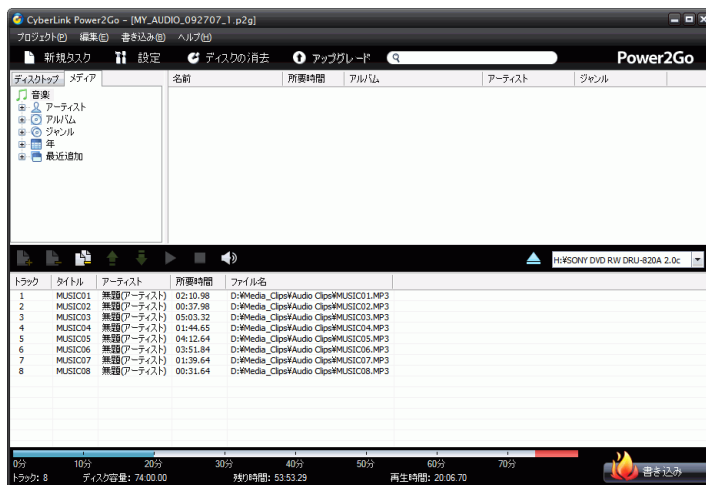
CyberLink Power2Go を使用すると、音楽ディスクを簡単に作成できます。通常の CD プレイヤーで再生できる音楽 CD も、MP3 や WMA ファイルを書き込んだ CD や DVD も作ることができます。すべて同じ作成手順で、異なるディスクを作成できます。

注： このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

音楽ディスクの書き込み

音楽ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink Power2Go プログラムのウィンドウで、作成するディスクのタイプを選択します。[音楽ディスク]ウィンドウが表示されます。




2. 検索ウィンドウを使ってディスクに書き込みたいファイルを選択します。[メディア]タブでは、CyberLink Media Library

サービスを活用することにより、音楽ファイルをアルバム、アーティスト、ジャンル、最近追加された音楽、年によって検索することができます。



3. 書き込みたい音楽ファイルを選択し、書き込み先ディスクにドラッグするか、[追加]ボタンをクリックします。

注：ビデオクリップからオーディオ部分だけをオーディオ CD に取り出すには、ビデオクリップをディスクに追加してください。

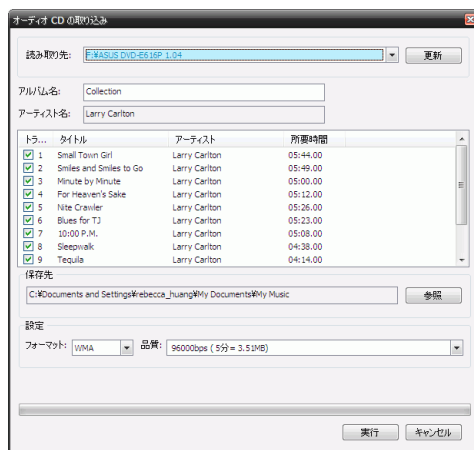
4. 書き込みたいオーディオをすべて追加したら、 **書き込み** をクリックします。
5. 必要であれば、[音楽](オーディオ CD、MP3 品質、WMA 品質) タブや[書き込みドライブ]タブの設定を変更してください。
6. 書き込む準備ができたなら[書き込み]をクリックします。すると CyberLink Power2Go がディスクの書き込みを開始します。
7. 書き込みが終了したら、開いたダイアログボックスでオプションを選択します。
 - ・ 書き込みログを参照するには、[ログを表示]をクリックします。ログはデフォルトの TXT エディタで開きますので、見たり、保存したりすることができます。
 - ・ ディスクのラベルを印刷するには[ラベルを印刷します]をクリックします。CyberLink LabelPrint が起動します。61 ページの「ラベルを印刷する」を参照してください。
 - ・ [OK] をクリックしてダイアログを閉じた後、終了します。

音楽のリッピング

音楽のリッピング機能を使用すると、音楽 CD からオーディオトラックを MP3、WAV、WMA 形式でハードディスクに取り込めます。

音楽ファイルをハードディスクにリッピングするには、次のようにします。

1. CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで **[音声の取り込み]** をクリックします。



2. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
 - ディスクを変えたり別のドライブを選択しなおしたりした場合は、**[更新]** をクリックして、表示内容が最新状態になるようにします。
3. ハードディスクにリッピングするオーディオトラックを選択します。

注： CyberLink Power2Go のバージョンによっては、この機能を使用できなかったり、制限が設けられていたりする場合があります。

4. リッピングするオーディオトラックを保存するフォルダを選択します。

注： オーディオの形式や品質は、必要に応じて変更できます。

5. **【実行】**をクリックするとファイルのリッピングが開始されます。CyberLink Power2Go は指定したフォルダにファイルのリッピングします。

第4章：

ムービープレーヤー

CyberLink DVD Suite Ultra から、DVD プレーヤー専用機と同じ機能や操作感を備えたソフトウェアディスクプレーヤーである CyberLink PowerDVD にアクセスできます。この製品に組み込まれている優れたナビゲーションコントロールにより、ニーズに応じたインタラクティブな視聴をお楽しみいただけます。



注： このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

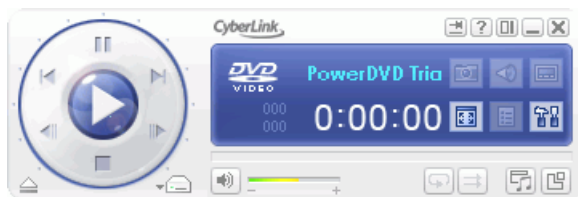
ムービーの視聴


Blu-ray ディスクや DVD ムービーを鑑賞するには、ドライブにディスクを挿入するか、CyberLink PowerStarter ウィンドウで [ムービープレーヤー] をクリックして適切なアイテムを選択します。

CyberLink PowerDVD の高度なビデオおよび音声技術により、PC における視聴としては最も高品質なムービーをお楽しみいただけます。

再生コントロール

CyberLink PowerDVD を初めて起動すると、次のような画面が表示されます。



A/V オプションパッド (下図、 をクリックして開く) では、音声出力モード、イコライザーの事前設定、映像調整を選択できます。









メニュー/ナンバーパッド(下図、をクリックして開く)も用意されています。







メインコントロール

CyberLink PowerDVD に組み込まれている優れたナビゲーションコントロールにより、ニーズに応じたインタラクティブな視聴をお楽しみいただけます。たとえば、次のような機能があります。

-  お気に入りのシーンをキャプチャする
-  ムービーをフルスクリーンで見る
-  音声チャンネルを切り替える
-  字幕を表示する
-  CyberLink PowerDVD を設定する
-  DVD メニューに戻る

再生中のナビゲート機能

特定のチャプタを飛ばしたり気に入ったシーンに戻ったりするために、CyberLink PowerDVD には簡単なナビゲーション操作が用意されています。

- ・ ジャンプ機能 - [次のチャプタ]  および [前のチャプタ] .
- ・ 早送りと巻戻し - 速度 : 0.5 倍、0.75 倍、1 倍、1.5 倍、2 倍、3 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍。
- ・ コマ送り機能 - [コマ送り]  または [コマ戻し] .
- ・ タイムサーチ
- ・ お気に入りのシーンをブックマーク

DVD やその他のメディアの再生

CyberLink PowerDVD では、Blu-ray ディスクや DVD のほか、さまざまな形式のいろいろなメディアを再生できます。たとえば、次のメディアを使用できます。

- ・ DVD VR ディスク
- ・ VCD、SVCD
- ・ オーディオ CD
- ・ DVD フォルダとビデオファイル

ドラッグ & ドロップによる再生

ファイルを再生する最も簡単な方法は、ファイルを CyberLink PowerDVD ユーザーインターフェイスにドラッグ & ドロップすることです。この操作を行うと、すぐに再生が始まります。CyberLink PowerDVD でサポートされているメディアファイルタイプやプレイリスト形式 (.m3u と .pls) であれば、この操作を行えます。

ハードディスクの DVD ファイルの再生

CyberLink PowerDVD では、ハードディスクに作成した DVD フォルダのファイルを再生できますので、DVD ディスクに書き込む前にハー

ドディスクでファイルをプレビューしてみることが可能です。この操作は、ビデオソースを指定し、ビデオを保存してあるフォルダを選択するだけで行えます。

設定



CyberLink PowerDVD は、ニーズに合わせて再生設定を変更できます。

プレーヤーの設定

[全般] タブでは、次の設定を行えます。

- デフォルトのドライブを設定する。
- ディスクがセットされたら自動的に再生するように CyberLink PowerDVD を設定する。
- Windows 起動時に、PowerDVD を起動するように設定する。
- CyberLink PowerDVD で特定の機能をカーソルでポイントした際に、ポップアップを表示するように設定する。
- DVD+VR 規格を優先する。
- ソフトウェアのアップデートを自動的に確認する。
- レジューム設定機能を有効化する。
- さらに詳細なプレーヤー設定を行うには、[アドバンス設定] をクリックする。アドバンス設定に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ユーザーインターフェイスの設定

ここでは UI スキンや表示言語を選択するなど、CyberLink PowerDVD の表示を設定します。

映像の設定

次の機能を使用してビデオ再生オプションの設定を行えます。

- **[再生支援機能 (DxVA) を使用する]** を有効化して、IDCT および動き補正をアクティブにする。このオプションを有効にすると、使用できなくなる機能があります。
- **[フルスクリーンで再生する]** を有効化して、再生時にデフォルトでモニタの最大画面領域を使用する。
- **[再生画面を、常に手前に表示する]** を選択して、CyberLink PowerDVD ビデオを最前面のアプリケーションとする。
- CyberLink 独自の映像技術 **[CLEV-2 (CyberLink Eagle Vision 2)]** を選択して、ビデオコンテンツを検知し、輝度、コントラスト、サチュレーションを動的に調整する。これにより、非常に暗いシーンからとても明るいシーンまで幅広い映像を持つムービーを再生する際にも、色の設定を変更する必要はありません。
- **[カラープロファイルを使用する]** を選択する。
- ムービーをフルスクリーンで見るとき Read-It-Clearly (字幕移動) 機能を有効にするには、**[フルスクリーンモードの時、自動で Read-It-Clearly を適用する]** を選択します。
- さらに詳細な映像設定を行うには、**[アドバンス設定]** をクリックする。アドバンス設定に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

音声出力の設定

次の機能を使用してオーディオ再生オプションの設定を行えます。

- **[スピーカ選択]** ドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- **[サラウンド選択]** ドロップダウンメニューからオプションを選択します。
- さらに詳細な音声出力設定を行うには、**[アドバンス設定]** をクリックします。アドバンス設定に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

技術情報

この情報は、ディスクを楽しむためのさまざまな情報を求めているユーザーに役立ちます。

Blu-ray ディスクの設定

[Blu-ray ディスク] タブでは Blu-ray ディスクタイトルを再生するための設定を行います。

- インターネットからダウンロードした追加のコンテンツ (仮想パッケージメディアなど) を保管するために使用する、**ローカルストレージ**の場所を設定する。
- CyberLink PowerDVD が選択した種類に応じて Blu-ray ディスクの追加コンテンツダウンロードを最適化できるように、使用している**ネットワーク接続の種別**を選択してください。

リージョン (地域) 設定

このリージョン設定では、コンピュータの Blu-ray ディスクドライブのリージョン設定を簡単に管理および変更します。

第 5 章：

ムービーディスクの作成と編集

CyberLink DVD Suite Ultra のムービーディスクの作成と編集機能を使用すると、さまざまなソースからのビデオコンテンツのキャプチャや CyberLink PowerProducer を使った Blu-ray Disc、DVD や VCD の作成など、多様な作業を行えます。また、CyberLink PowerDirector Express を使用した簡単な動画編集作業や、CyberLink PhotoNow! を使用した静止画の編集、CyberLink Medi@Show を使用したすばらしいスライドショーの作成も行えます。



ムービーディスクの作成

CyberLink PowerProducer を使用すると、デジタルビデオ作成を完了して、ディスクに書き込むことができます。まるでプロが作るようなディスクを作成するために必要なすべての機能に、簡単にアクセスできます。

注： 次に説明する手順に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ディスク形式の選択

ムービーディスクを作成するには、まず使用するディスクの形式を選択します。ディスクの形式は、使用するディスクドライブの種類、作成するビデオの長さや画質、再生に使用する機器を考慮して決めます。

CyberLink PowerStarter ウィンドウで、次の形式を選択することができます。

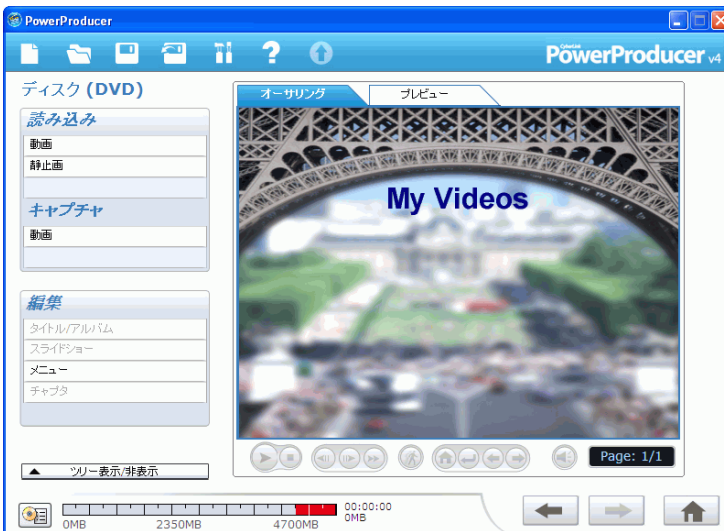
- **Blu-ray ディスク**: Blu-ray ディスクプレーヤーで再生できる、高品質なハイビジョンビデオを作成できます (Blu-ray ディスクライターが必要です。)
- **DVD**: 長時間の高品質のビデオを作成するのに適しています。(DVD 書き込みドライブが必要です。)
- **VCD**: 低品質のビデオまたはスライドショーを作成するのに適しています。
- **SVCD**: DVD のようなメニューを持つ中品質のビデオを作成するのに適しています。

CyberLink PowerStarter ウィンドウでディスクの種類を選択すると、自動的にコンテンツのウィンドウに移動し、コンテンツのキャプチャや読み込みの処理を始めることができます。

メディアのキャプチャ / 読み込み

ビデオ作品を作るには、まずビデオコンテンツを取得する必要があります。CyberLink PowerProducer にインポートすればよいだけのデジタルファイルをもっていることもあります。アナログやデジタルの生ソースからキャプチャしなければならない場合もあります。

インポートとキャプチャの機能は、コンテンツウィンドウにあります。



次の操作を行えます。

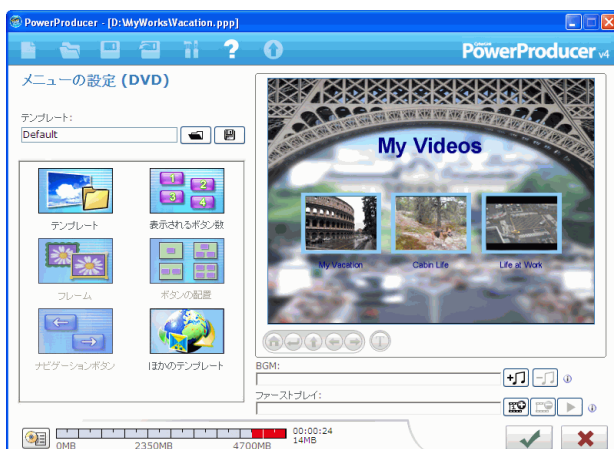
- ・ ビデオファイルの読み込み
- ・ 静止画ファイルの読み込み
- ・ DV カメラからのキャプチャ
- ・ TVからのキャプチャ
- ・ ビデオからのキャプチャ
- ・ PC カメラからのキャプチャ
- ・ デジタルカメラからのキャプチャ

コンテンツを読み込んだら、CyberLink PowerDirector Express を使用して簡単な編集を行えます。詳細は、39 ページの「ビデオ編集」をご覧ください。

ディスクのメニューページのカスタマイズ

メニューを使用して、完成したディスクをナビゲートします。メニューの変更ウィンドウを使用すると、メニューページの外観を自由にカスタマイズできます。たとえば、ボタンや文字、全体的なレイアウトを変更できます。

メニューの変更ウィンドウを開くには、ディスクウィンドウの[編集]タイトルの下にある[メニュー]をクリックします。



次の操作を行えます。

メニューページの設定

メニューテンプレートや背景画像、ボタンのレイアウト、スタイル、フレームを選択して、メニューページをカスタマイズできます。

メニューテキストの変更

メニューページに表示するテキストをカスタマイズできます。たとえば、フォントのプロパティを変更できます。

BGM の設定

メニューページに BGM を設定して、ページが表示される際に演奏されるようにできます。

ファーストプレイ動画クリップの設定

ファーストプレイに指定したクリップは、コンピュータにディスクが挿入されると、メニューページが表示される前に再生されます。ファーストプレイにはナビゲーションボタンを付けることはできず、また早送りすることもできません。プロの作品では、ファーストプレイは一般に著作権情報や警告の表示に使われますが。個人的な作品では、自己紹介や、何か別の動画クリップの表示に使用してかまいません。

チャプタの作成

チャプタを使用すると、ディスクのナビゲーションを簡単に行えます。ディスクにチャプタを作成しておけば、再生時にメニューページからチャプタにジャンプでき、途中のコンテンツをスキップすることができます。チャプタは、作成しなくてもかまいません。チャプタを作成しない場合、ディスクをプレーヤーに挿入すると自動的にムービーが再生されます。CyberLink PowerProducer では、自動的にチャプタを作成することも、手動でチャプタを作成することもできます。

書き込みの設定

CyberLink PowerProducer には作品の完成方法がいくつか用意されており、状況によって使い分けることができます。製作の仕上がりとして、作品をディスクに書き込んだり、ディスクイメージとして保存

したり、ハードディスクに DVD フォルダを作成してメディアファイルを整理したりできます。



使用する書き込みドライブやディスクによっては、これらの処理を同時に実行できます。

ビデオ編集

ビデオを編集したり、トランジションやタイトルを追加したりして、より洗練されたビデオを作製できます。CyberLink PowerDirector Express には、ビデオを仕上げるために必要なさまざまなツールが用意されています。

ビデオを編集するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[動画の編集]** を選択します。



注: このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

使用できる編集オプション

編集とは、次のようなさまざまな機能を意味しています。

- **クリップの分割**: メディアクリップを、タイムラインスライダの現在の位置で2つに分割できます。
- **トリム**: 外部キャプチャデバイスでキャプチャしたビデオには、不要な部分が先頭やシーン間、または末尾に含まれるこ

とがよくあります。このような不要部分は、CyberLink PowerDirector のトリム機能を使用すると簡単に削除できます。

- **ビデオクリップの静止画スナップショットをとる** : ビデオクリップの単一フレームをキャプチャして、自動的にこのスナップショットをライブラリにロードできます。
- **ビジュアルメディアクリップの色を変更する** : ビデオや静止画クリップやカラーボードの色属性を変更して、劇的な効果を出したり、リアリティを強調したりすることができます。
- **ビデオクリップのインターレース形式を設定する** : ビデオクリップにはかならずインターレース (TV) 形式があり、これによってフレームがどのように表示されるかが決まります。矛盾する (正しくない) TV 形式のビデオクリップを使用すると、作品のビデオ品質が低下します。
- **音声ミキシングルームで音声レベルをミキシングする** : 音声ミキシングルームの音声ミキサーを使用すると、作業領域にある音声クリップの音声レベルを厳密に調整することができます。
- **音声クリップにフェード効果を追加する** : 音声クリップにフェードイン / フェードアウト効果を適用して、ビデオに効果的なサウンドトラックをつけることができます。

Magic ツールの使用

CyberLink PowerDirector の Magic ツールを使用すると、音声、ビデオ、静止画クリップをより効果的に演出できます。Magic ツールを使用すると、次のことができます。



Magic Movie ウィザード : 初めて編集に挑戦される方、あるいはどこから、どのように開始すればいいのかわからない方には、マジックムービー ウィザードが便利です。Magic Movie ウィザードはわずか数ステップで、メディアから驚くような出来栄のムービー作品を作成できるようにします。



静止画クリップに Magic Clean を実行する : 静止画クリップに CyberLink PowerDirector の Magic Clean を適用すると、画像がより鮮明になります。



ビデオクリップに Magic Clean を実行する : ビデオクリップに CyberLink PowerDirector の Magic Clean を適用すると、ビデオ出力がより鮮明になるように自動的に調整されます。



音声クリップに Magic Clean を実行する : Magic Clean には CLNR (CyberLink Noise Reduction) 技術が使用されており、音声出力の質が向上します。



Magic Cut: Magic Cut は、長いビデオセグメントを短いクリップにする際に役立ちます。たとえば、1 時間のビデオを 10 分に編集するような場合に便利です。



Magic Fix: CyberLink PowerDirector の Magic Fix を使用すると、手ぶれしたビデオやピンボケの写真、赤目を修整できます。



Magic Style: CyberLink PowerDirector の Magic Style を使用すると、クリップを完成したムービーに変換できます。

効果の追加

CyberLink PowerDirector を使用すると、ホームビデオにさまざまな効果を追加できます。



効果 : ムービーのビデオクリップや静止画クリップには特殊効果を追加することができます。



PiP オブジェクト : PiP トラックのビデオや静止画クリップにはグラフィックを追加することができます。



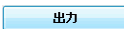
トランジション効果 : ムービーにトランジション効果を追加して、より洗練されたものにできます。



タイトルエフェクト : テキストや画像を追加して、クリエイティブなタイトルを作成できます。

ムービーの制作

編集処理が完了したら、ムービーに最終的な制作処理を行えます。プロダクションウィザードのいくつかの簡単な操作で、ばらばらだったムービーのパーツがさまざまな形式のムービーファイルにまとめられ、再生したり、友達と楽しんだり、ディスクに焼いたりできるようになります。

CyberLink PowerDirector でムービーを作成するには、をクリックしてプロダクションウィザードの指示に従います。

静止画編集

CyberLink PhotoNow! を使用すると、静止画の輝度やコントラストを調整したり、赤目を修正したりできます。

静止画を編集するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[静止画の編集]** を選択します。



PhotoNow! のいくつかの機能

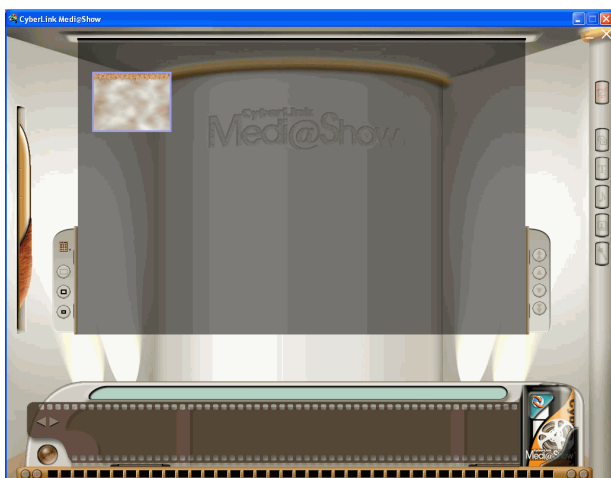
- ・ レベル、コントラスト、均等化の自動調整
- ・ 輝度、コントラスト、サチュレーション、鮮明さの手動調整
- ・ 赤目の自動および手動修正
- ・ トリミング、サイズ変更、回転機能
- ・ カスタマイズした特殊効果

注： このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

スライドショーの作成

CyberLink Medi@Show を使用すると、手持ちの写真を使ってすばらしいスライドショーを簡単に作成できます。フィルムウィザードを使用した簡単な操作で、インポートし、BGM を設定し、再生設定を指定できます。

スライドショーを作成するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[スライドショーの作成]** を選択します。



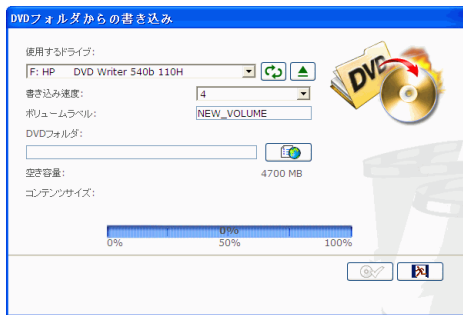
注： このプログラムと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。





DVD フォルダの書き込み

DVD フォルダが作成済みであれば、このフォルダをディスクに書き込んで保存できます。

DVD フォルダを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[DVD フォルダの書き込み]** を選択します。



2.  をクリックし、書き込むフォルダを選択します。
3. ディスクを挿入して、ドライブを選択します。
 -  をクリックして、ドライブの表示を更新します。
 -  をクリックして、ドライブの扉を開けます。
4.  をクリックして開始します。CyberLink PowerProducer では、処理状況がリアルタイムで表示されます。

注： このプログラムに関する詳細は、製品に付属のヘルプファイルを参照してください。

第6章：

コピー & バックアップ

CyberLink DVD Suite Ultra を使用すると、CyberLink Power2Go でデータ CD、DVD、Blu-ray ディスクを簡単にコピーできます。また、CSS 保護されていない DVD ビデオは、CyberLink PowerDVD Copy でコピーできます。さらに、CyberLink PowerBackup を使用すると、データをすべてバックアップし、必要に応じてリストア（書き戻し）することもできます。



データディスクのコピー

ディスクコピーオプションでは、ディスク形式を問わず、コピーを作成できます。ただし、コピー元とコピー先のディスクは同じ形式でなくてはなりません。たとえば、CDの内容をDVDにコピーすることはできません。

注：書き込み保護されていたり、エラーのあるディスクは、コピーできない場合があります。

ディスクをコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter プログラムのウィンドウで、コピー元となるデータディスクのタイプ (CD、DVD、Blu-ray ディスク) を選択します。



2. 読み込みドライブと書き込みドライブを選択します。
3. [コピー]をクリックします。CyberLink Power2Goにより、コピーしたデータがディスクに書き込まれます。
4. 書き込みが終了したら、開いたダイアログボックスでオプションを選択します。

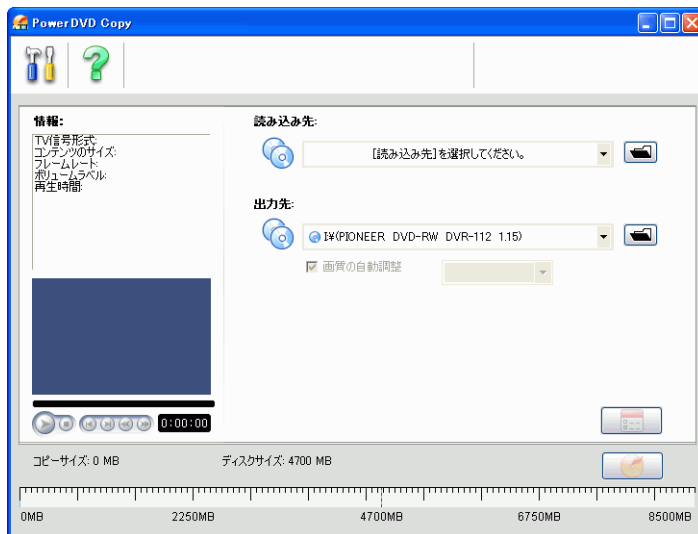
- 書き込みログを参照するには、[**ログを表示**] をクリックします。ログはデフォルトの TXT エディタで開きますので、見たり、保存したりすることができます。
- [**OK**] をクリックしてダイアログを閉じた後、終了します。


DVD-Video のコピー


CyberLink PowerDVD Copy は、DVD ムービーをディスクやハードドライブからバックアップ DVD にコピーするための専用ツールです。DVD フォルダをハードドライブに作成したり、ムービーとして DVD に書き込んだりできます。選びやすいオプションや、シンプルなインターフェイスにより、DVD コピー操作を簡単に行えます。

ムービー DVD をコピーするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[DVD-Video のコピー]** を選択します。
2. CyberLink PowerDVD Copy ウィンドウで、コピーするムービー DVD のビデオソースを選択します。



3. ムービー DVD のコピー先を選択します。
4. すべてのコンテンツをコピーしない場合、 ボタンをクリックして、コピーする DVD のコンテンツを選択します。

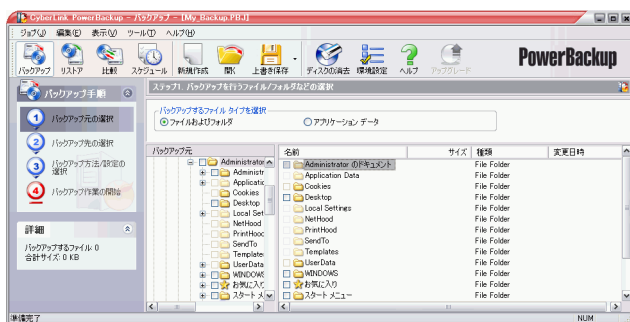
5.  をクリックします。CyberLink PowerDVD により、ムービーがディスクに書き込まれます。

データのバックアップとリストア（書き戻し）

データのバックアップはセキュリティにおける重要な作業のひとつです。これにより、災害やディスクエラーの発生時、またハッカーやウィルスによる攻撃を受けた場合などに、膨大な時間と費用を節約することができます。重要なデータを別の媒体にバックアップしておけば、データを元の状態にすみやかに戻すことができます。

データのバックアップ

データをバックアップするには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで[データのバックアップ]を選択し、次の操作を行います。



ステップ 1- バックアップ元の選択

バックアップウィンドウにある 2つのファイルディレクトリウィンドウで、バックアップするファイルやフォルダを探して選択します。これらのウィンドウは Windows Explorer と同じように機能します。バックアップするファイルの種類に応じて、ディレクトリウィンドウの上にある[ファイルおよびフォルダ]または[アプリケーション データ]を選択します。

ステップ 2 - バックアップ先の選択

[**バックアップ先の選択**] をクリックし、バックアップ先を選択します。

- ・ **バックアップ先** : ドロップダウンボックスでバックアップ先を選択します。使用できるハードウェア環境によっては、バックアップ先として、ハードディスクやディスクの書き込みドライブも選択することができます。
- ・ **バックアップファイル名** : バックアップファイルに分かりやすい名前をつけます。バックアップファイルを別のディレクトリに保存するには [**参照**] をクリックし、使用するフォルダを選択します。
- ・ **リストアツールを含む** : 実行可能 (.exe) ファイルを作成して、PowerBackup プログラムがインストールされていないコンピュータでもデータを復元できるようにする場合、これを選択します。
- ・ **バックアップファイルの分割設定** : バックアップファイルを指定したサイズに分割します。

ステップ 3 - バックアップ方法 / 設定の選択

[**バックアップ方法 / 設定の選択**] をクリックし、バックアップ方法を選択します。必要に応じて、詳細なオプションも指定します。

- ・ バックアップ方法には、[**すべてバックアップする**]、[**差分をバックアップする**]、[**増分をバックアップする**] があります。
- ・ さらに詳細なオプションを設定するには、[**環境設定**] をクリックします。

注 : この機能は購入された製品のバージョンによって異なるため、一部の機能をご利用になれない場合があります。

ステップ4- バックアップ作業の開始

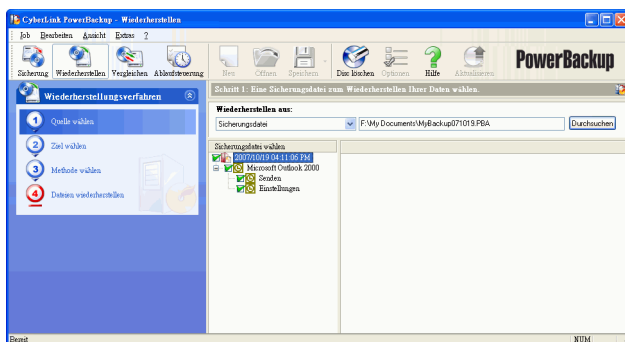
[バックアップ作業の開始]をクリックします。設定が正しいことを確認してから、次のいずれかのボタンをクリックしてバックアップを開始します。

- すぐにバックアップするには、[バックアップの開始]をクリックします。
- あとでバックアップするようにスケジュールするには、[スケジュールに追加]をクリックします。

注： この機能は購入された製品のバージョンによって異なるため、一部の機能をご利用になれない場合があります。

データのリストア

データをリストアするには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで [データのリストア] を選択し、次の操作を行います。



ステップ1- リストア元の選択

リストアウィンドウで [リストア元] ドロップダウンボックスでリストアするソースを選択します。

- ・ **バックアップファイル**: 既存のバックアップファイルからリストアします。バックアップファイルを開くには[参照]をクリックし、使用するファイルを検索して開きます。
 - ・ **バックアップの履歴**: 以前のバックアップ作業の記録からリストアします。[バックアップの履歴]からレコードを削除するには、[編集]>の[バックアップの履歴を削除]または[バックアップの履歴をすべて削除]コマンドを使用します。
 - ・ **ディスクドライブ**: ディスクからリストアします。
- ソースを選択したら、リストアするファイルを選択します。

ステップ 2- リストア先の選択

[リストア先の選択]をクリックし、リストア先を選択します。

- ・ **オリジナルのファイルパス**: ファイルがバックアップされた際にあった元の場所にリストアします。
- ・ **特定のファイルパス**: 新しい場所にリストアします。新しいディレクトリを設定するには[参照]をクリックし、使用するフォルダを検索して開きます。
- ・ **特定のファイルパス (フォルダ構成を保持しない)**: バックアップしたファイルすべてを、単一の新しいディレクトリにリストアします。新しいディレクトリを設定するには[参照]をクリックし、使用するフォルダを検索して開きます。

ステップ 3- リストア方法の選択

[リストア方法の選択]をクリックし、リストア方法を選択します。

- ・ **上書きしない**: ハードドライブにないファイルのみをリストアし、既存のファイルは上書きしません。
- ・ **新しいファイルのみ上書きする**: バックアップコピーのほうが新しい場合、ハードドライブにあるファイルを上書きします。
- ・ **常にファイルを上書きするオプション**: いかなる場合もバックアップコピーでハードドライブにあるファイルを上書きします。

- ・ **上書きに関する確認を表示する** : どのファイルを残すかたずねるプロンプトを表示します。

ステップ 4 - リストア作業の開始

[リストア作業の開始] をクリックし、設定が正しいことを確認します。すぐにリストアするには、**[リストアの開始]** をクリックします。

第7章：

ユーティリティ

CyberLink DVD Suite Ultra では、すでにデータが書き込まれている書き換え可能なディスクを消去するなど、便利なユーティリティがいくつも用意されています。また、ディスク作成の仕上げとして、CyberLink LabelPrint を使用して美しいラベルを作成、印刷したり、ディスクイメージを作成、書き込んだりすることもできます。



ディスクからのイメージ作成

ディスクイメージを作成してハードディスクに保存すると、コンピュータのバックアップをあとでディスクに書き込むときに便利です。

ディスクイメージを保存するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[ディスクからのイメージ作成]** を選択します。



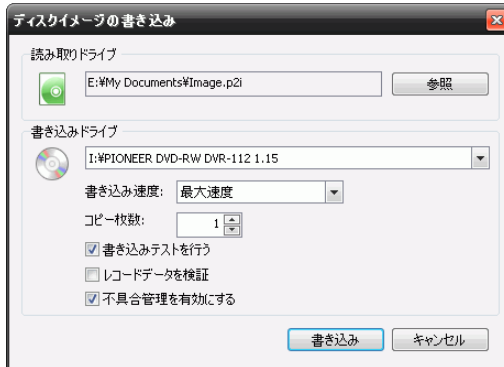
2. ディスクを挿入します。必要であれば、**[読み取りドライブ]** ドロップダウン ボックスで読み込みドライブを選択してください。
3. **[書き込みドライブ]** 入力ボックスに保存先のフォルダとディスクイメージファイル名を入力するか、**[参照]** をクリックしてフォルダを選択しディスクイメージファイル名を入力します。
4. **[保存]** クリックしてディスクイメージを保存します。

ディスクイメージからの書き込み

ディスクイメージの書き込みにより、保存してあるディスクイメージをディスクに保存したり、CyberLink Image Recorder で作成したディスクイメージを書き込んだりできます。

ディスクイメージを書き込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink Power2Go ウィンドウで[ディスクイメージからの書き込み]を選択します。



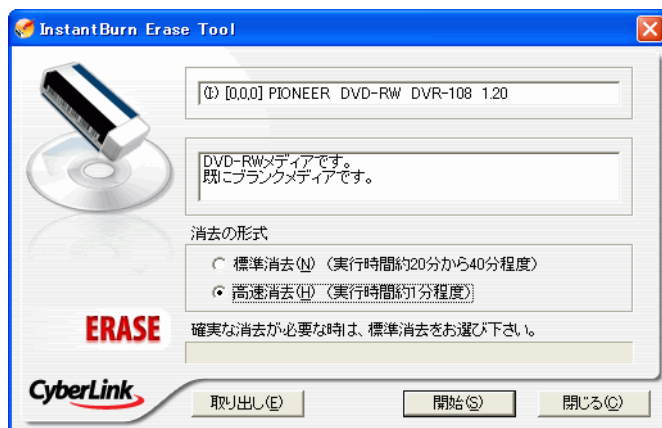
2. [参照]をクリックして、ディスクイメージの場所を探します。
3. ディスクを挿入して、ドロップダウンリストでドライブを選択します。
4. [書き込み]をクリックするとディスクへの書き込みが開始されます。

ディスクの消去

書き換え可能なディスクを使用している場合、以前書き込んだコンテンツを消去できます。これにより、同じディスクを何度も使用でき、ディスクを買わなくても済みます。

ディスクを消去するには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[ディスクの消去]** を選択します。
2. ディスクを挿入して、ディスクの消去ウィンドウで書き込みドライブを選択します。



3. 消去方法を選択します。
 - ・ **[標準消去]** オプションでは、ディスクのコンテンツすべてを消去します。
 - ・ **[高速消去]** オプションでは、ディスクのインデックスを消去します。
4. **[開始]** をクリックして開始します。処理が終了すると、ステータスを通知するメッセージが表示されます。

ラベルを印刷する

Cyberlink LabelPrint にはさまざまなレイアウト形式が用意されており、また LightScribe と LabelFlash 技術を使用したディスクへの直接印刷をはじめとする多くの印刷オプションがサポートされています。

- 注： LightScribe ドライブおよびディスクには、LightScribe 機能を使用する必要があります。
- 注： LabelFlash ドライブおよびディスクには、LabelFlash 機能を使用する必要があります。
- 注： このアプリケーションと機能に関する詳細については、製品のヘルプファイルを参照してください。

ラベルを作成するには、CyberLink PowerStarter ウィンドウで **[ラベルを印刷する]** を選択します。



ステップ 1 - ラベルの種類の選択

ラベル作成の第一歩は、印刷するラベルの種類を選択することから始まります。LightScribe ラベル、LabelFlash ラベル、ディスクラベル、ミニディスクラベル、フロントジャケット（表）、フロントジャケット（裏）、リアジャケットを選択できます。

ステップ 2 - ラベルテキストの編集

タイトルなどのディスク情報を追加または編集し、ディスクを識別できるようにします。また、コンテンツの情報を追加または編集し、ディスクに保存されているファイルがわかるようにします。この操作は、ラベルテキストの編集ページで行えます。

ステップ 3 - レイアウトなどの編集

レイアウトを選択し、フォントを変更し、カスタムの背景画像を使用して、より個性的なディスクラベルを作成できます。次の操作を行います。

- ・ ラベルのレイアウトの選択
- ・ 背景画像の追加
- ・ テキストの追加 / 変更

ステップ 4 - 印刷の確認 / 実行

CyberLink LabelPrint でラベルを印刷できます。印刷可能な対象は次のとおりです。

- ・ **普通紙** : 使用するプリンタでサポートされている用紙すべてです。
- ・ **ラベル用紙** : ラベル用の専用紙です。
- ・ **ディスク** : 紙は不要ですが、LightScribe 専用の書き込みドライブとディスクが必要です。

第 8 章：

テクニカルサポート

この章には、テクニカルサポートの情報を記載されています。ユーザーが回答を見つけるために役立つすべての情報が含まれています。現地の販売店 / ディーラーにお問い合わせによっても、素早く回答が得られます。

この章には、以下のセクションがあります。

- 64 ページの「テクニカルサポートにお問い合わせになる前に」
- 65 ページの「Web サポート」

テクニカルサポートにお問い合わせになる前に

次のいずれかにより、CyberLink の無料テクニカルサポートをご活用ください。

- ・ プログラムと共にインストールされたユーザーガイドまたはオンラインヘルプで調べる。
- ・ CyberLink Web サイトのサポートセクションで FAQ (よく受ける質問) を参照する。

[http : //www.cyberlink.com/multi/support/product_faq_home.jsp](http://www.cyberlink.com/multi/support/product_faq_home.jsp)

FAQ にはユーザーガイドやオンラインヘルプよりも新しい情報やヒントが含まれている可能性があります。

テクニカルサポートに電子メールや電話でお問い合わせの場合は、次の情報をご用意ください。

- ・ 登録した **アクティベーションキー** (アクティベーションキーは CD ケース、箱、または Cyberlink ストアで CyberLink DVD Suite を購入した後で受け取った電子メールに明示されています。)
- ・ 製品名、バージョンとビルド番号。これらは通常、ユーザーインターフェイスの製品名をクリックすると表示されます。
- ・ コンピュータにインストールしている Windows のバージョン。
- ・ システムのハードウェア デバイス (キャプチャカード、サウンドカード、VGA カード) およびその仕様。
- ・ 表示された警告メッセージの内容 (書き留めるか、スクリーンショットをとります)。
- ・ 問題が発生した状況とその問題の詳細な説明。

Web サポート

問題に対する解決策は、次により CyberLink の Web サイトで 1 日 24 時間、無料で入手できます。

注 : CyberLink Web サポートをご使用になるには、初めにメンバーとして登録する必要があります。

CyberLink は、次の言語による FAQ やユーザーコミュニティフォーラムなど豊富な Web サポートオプションを提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/CS/support/enu/support_index.jsp
繁体字中国語	http://tw.cyberlink.com/CS/support/cht/support_index.jsp
日本語	http://jp.cyberlink.com/jpn/support_jpn/support_index.jsp
イタリア語	http://it.cyberlink.com/CS/support/ita/support_index.jsp
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/CS/support/deu/support_index.jsp
フランス語	http://fr.cyberlink.com/CS/support/fra/support_index.jsp
スペイン語	http://es.cyberlink.com/CS/support/esp/support_index.jsp

索引

A

A/V オプションパッド 26

B

Blu-ray ディスク

コピー 48

データの書き込み 12

ビデオの作成 34

鑑賞 26

設定 31

C

CD

コピー 48

データの書き込み 12

ビデオの作成 34

音楽のリッピング 22

CLEV-2 30

CyberLink 製品ウィンドウ 7

D

DV カメラ、キャプチャする 35

DVD

コピー 48

データの書き込み 12

ビデオの作成 34

鑑賞 26

再生 28

DVD プレーヤー 25

DVD-Video のコピー 50

I

InstantBurn

InstantBurn の使用 16

サポートされるディスク 17

ディスクの消去 60

L

LabelPrint 61

LightScribe 62

M

Magic Movie ウィザード : 40

Magic ツール 40

Medi@Show

スライドショーの作成 44

P

PC カメラ

キャプチャする 35

PhotoNow!

静止画編集 43

Power2Go

ディスクイメージからの書き込み 59

ディスクからのイメージ作成 58

ディスクをコピーする 48

データディスクの書き込み 12

音楽CDのリッピング 22

音楽ディスクの作成 20

音楽ディスクの書き込み 20

Power2Go モード

ブータブルデータディスクの書き込み 13

PowerBackup

データのバックアップ 52

データのリストア 54

PowerDirector

Magic ツールの使用 40

ビデオの編集 39

効果の追加 41

PowerDVD 25

メインコントロール 27

再生コントロール 26

再生中のナビゲート 27

設定

映像 29

音声出力 30

技術情報 31

全般 29

操作パネル 29

PowerDVD Copy

ムービーディスクのコピー 50

PowerProducer

DVD フォルダの書き込み 45

ディスクのメニューページの
カスタマイズ 36

ムービーディスクの作成 34

メディアのキャプチャ/読み込み 35

書き込みの設定 37

PowerStarter 2

PowerStarter を起動する 6

S

SVCD 34

SVCD、再生 28

T

TV チューナ

キャプチャする 35

V

VCD、再生 28

あ

アップグレード

PowerStarter 6

あとでバックアップするようにスケジュールする 54

う

ウェブカメラ
キャプチャする 35

お

オーディオ CD、再生 28
オーディオ ストリーム
メニュー 27
切り替える 27
オーディオトラック、ハードディ
スクへのリッピング 22
オリジナルのファイルパスオブ
ション 55
お気に入りから削除 3
お気に入りに追加 3
お気に入りメニュー 3

か

カメラ
キャプチャする 35

き

キャプチャする
DV カメラから 35
PC カメラから 35
TV から 35
デジタルカメラから 35
ビデオから 35

く

クイックアクセスボタン 5

こ

コピー & バックアップメニュー 4
コマ送り 28
コンテンツを取得する
DV カメラから 35
PC カメラから 35
TV から 35
デジタルカメラから 35
ビデオから 35
コントロールホイール 27

し

システム要件 9
シャトル 28
ジャンプ 28

す

スピーカ選択 30
スライドショーの作成 44

た

タイムサーチ 28
タブ 12, 20

ち

チャプタ

設定 37

チャプタを作成する 37

て

ディスクイメージ

書き込み 59

保存する 58

ディスクコピー 48

ディスクのメニューページのカスタマイズ 36

ディスクの消去

手順 60

ディスクメニューを変更する

テキストを編集する 37

ディスクユーティリティ

ディスクイメージからの書き込み 59

ディスクイメージの保存 58

ディスクの消去 60

音楽のリッピング 22

ディスクラベルを印刷する 61

データのバックアップ 52

データのリストア 54

データメニュー 4

デジタルカメラ、キャプチャする 35

と

ドラッグ & ドロップによる再生 28

は

バージョン表 8

バックアップの履歴 55

バックアップの履歴をすべて削除 55

バックアップの履歴を削除 55

バックアップファイルの分割設定 53

ひ

ビデオ入力

キャプチャする 35

ビデオ編集 39

ふ

ファーストプレイ 37

ファイルディレクトリウィンドウ 52

ブータブル

CD、書き込み 13

イメージファイル 13

フロッピーディスク 13

ブックマークをつける 28

フルスクリーン 27, 30

フレームをキャプチャする 27

フロッピーディスク、ブータブル 13

む

- ムービーディスクの作成 34
- ムービーディスクの作成と編集メニュー 4
- ムービープレーヤーメニュー 4

め

- メディアのキャプチャ / 読み込み 35
- メディアライブラリ サーバー 12, 20
- メニュー
 - テキストを編集する 37
 - ファーストプレイ 37

ゆ

- ユーティリティメニュー 5

ら

- ラベルを作成する 61

り

- リストアツール 53

れ

- レジューム
 - 設定 29

ろ

- ログを表示 13, 14, 21

その他

印刷

- 使用可能なメディア 62

- 印刷に使用可能なメディア 62

音楽

- ハードディスクへのリッピング
グ 22

音楽のリッピング

- 手順 22

音楽メニュー 4

音声出力の設定 30

開く

- ハードディスクの DVD ファイル 28

検索

- アーティスト 20
- アルバム 20
- ジャンル 20
- 最近追加 20
- 年 20

効果 41

高速消去 60

再生

- DVD 28
- VCD、SVCD 28
- オーディオ CD 28
- ドラッグ & ドロップによる 28
- ハードディスクの DVD ファイル 28
- ファイル 28

- 最近開いたドキュメント 12
- 最近作成したドキュメント 12
- 最新のバージョンを自動的に
チェックする 6
- 字幕
 - Read-It-Clearly 30
 - 表示する 27
- 書き込み
 - DVD フォルダ 45
 - ディスクイメージ 59
 - データディスク 12
 - ブータブルデータディスク 13
- 上書きしないオプション 55
- 上書きに関する確認を表示するオ
プション 56
- 常にファイルを上書きする 55
- 新しいファイルのみ上書きするオ
プション 55

- 製品情報を取得する 6
- 静止画編集 43
- 設定 29
 - PowerStarter 5
- 特定のファイルパス（フォルダ構
成を保持しない）オプション 55
- 特定のファイルパスオプション 55
- 読み込み
 - 静止画ファイル 35
 - 動画ファイル 35
- 標準消去 60
- 普通紙 62
- 編集する
 - ディスクメニューのテキスト
37
- 用紙テンプレート 62